

「町田 MEW の会」設立趣意書

1. 設立の趣旨

近年、発達障がい・ADHD やグレーゾーンの子どもに対する関心が高まり、発達特性に起因する二次的な問題が深刻化しています。特に、コミュニケーションの課題から就学後に不登校に至るケースも増え、子ども本人だけでなく、保護者や関係機関にとっても大きな負担となっています。発達支援の必要性は全国的に認識されていますが、医療・教育・福祉の各分野が一貫性を持って連携できているとは言い難い状況です。町田市も例外ではありません。

医療・教育・福祉が連携・協働し、子どもたちのアドボケイトとして動くことが重要であることは一般的に言われていますが、実際のところは分野ごとの考え方の違いや人材・時間の不足が障壁となって機能していないところも多々あります。そこで、分野間の壁を低くし、子どもたちを社会全体で支えるための連携・協働体制を構築することを目的に、「町田 MEW の会」を設立します。

2. 目的と活動内容

「町田 MEW の会」は、以下の活動を通じて、医療・教育・福祉の横断的な連携・協働を目指します。

A. 研修会の開催

- 専門家による最新情報の提供や、実践に基づく講演・研修を実施

B. 連携機関の情報交換

- 各分野の関係者が顔の見える形につながる「連携協議会」の開催

C. 行政との意見交換

- 発達支援に関する行政との対話を通じて、各施設の活動に役立つ支援体制を構築

3. 会の名称について

「町田 MEW の会」は、発起人である医療法人社団草童会が位置する南町田周辺を中心に、町田市南地区での連携を想定しておりましたが、さらに幅広く参加を希望される意見がありましたので町田中心で設定しました。

MEW は、Medical(医療)・Educational(教育)・Welfare(福祉)の頭文字を取るとともに、Meet(出会う)・Enjoy(楽しむ)・Work(協力する)という意味も込めています。

4. 参加者の募集

「町田 MEW の会」は、子どもを支援するすべての分野に門戸を開き、多くの関係者の参加を呼びかけます。

対象となる団体:保育園・幼稚園・こども園・学校・フリースクール・療育機関・医療機関・子ども食堂・学習支援団体 など

多様な関係者が協力し合い、町田市全体で子どもたちを支える仕組みを築くことを目指します。

5. 協力依頼内容

- ・会の趣旨へのご同意ならびに参加団体としての登録
- ・研修会への参加・自施設の紹介を通じて会の相互連携
- ・会の将来的な維持、行政との対話など、会の維持発展への協力

2025 年 3 月 1 日

町田 MEW の会 発起人

佐藤 明弘(医療法人社団草童会 理事長)

東京都町田市鶴間 3-2-3MQプラザ南町田 1 階南町田こどもクリニック内

aki.satoh@mm-child-clinic.tokyo